

# 2011年（平成23年）度第6回常務理事会記録

日時 2011年（平成23年） 6月25日（土） 13:00～16:00

場所 東京大学医学部教育研究棟2階第1セミナー室

出席者：高田邦昭（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、渡辺雅彦（以上常務理事）、仲嶋一範、竹田扇（以上常任幹事）、天野恵子、中村聡（以上、口腔保健協会）

## I. 会議記録の確認

2011年（平成23年）度第4回常務理事会（平成23年3月27日開催）記録（案）

2011年（平成23年）度第5回常務理事会（平成23年3月27日開催）記録（案）

2011年（平成23年）度第5回理事会（平成23年3月30日開催）記録、同議事録（案）

2011年（平成23年）度総会（平成23年3月27日開催）記録、同議事録、同摘録（案）

## II. 報告事項

### 1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

#### (1) 会員異動報告

平成23年3月分（入会者 正会員4名、学生3名、退会者 正会員 10名、学術評議員 1名、名誉会員 2名）

平成23年4月分（入会者 正会員4名、学生2名、退会者 学生 1名）

平成23年5月分（入会者 正会員2名、学生4名、退会者 正会員 1名、永年会員1名）

逝去会員：

宮内亮輔氏（福岡大学名誉教授/名誉会員） 平成23年5月14日逝去（享年86歳）

中村三雄氏（大分大学名誉教授/永年会員） 平成23年 月 日（享年80歳）

逝去会員追悼記事の執筆を故人と関係のある会員に依頼する事になった。

#### (2) 平成23年度支部学術集会の開催日程について

資料に基づいて説明があり、関東支部の開催が10月である事が追加された。

#### (3) 学会宛文書類について

① 通知・依頼：（独）科学技術振興機構より「Science Portalのご案内」他57件の通知・依頼あり。

② 書籍・定期通信等：厚生労働省より「医薬品・医療機器等安全情報」他18件あり。

#### (4) 一般社団法人への移行申請について

配布資料に基づいて説明があり、移行に伴う学会財産の取扱いに関して意見交換が行われた。また、法人移行に伴う臨時総会の開催を今年度の関東支部総会と併せて開催する方向で種々の意見交換が行われた。

#### (5) ご遺体を用いたサージカルトレーニングの在り方委員会について

配布資料と当日の追加資料に基づいて説明があった。

#### (6) 将来計画ワーキンググループ最終答申について

資料に基づいて説明があった。

#### (7) その他

特になし

### 2. 編集報告（渡辺編集担当理事）

#### (1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

現在の印刷数が2400部である事、残部が80数部である事が報告された。

#### (2) 科研費採択結果について

不採択であった事とその理由が説明され、今後のASI刊行に関して意見交換が行われた。

#### (3) ASI入札執行結果について

資料に基づいて説明があり、Springer JAPANが今後3年間請け負うことが報告された。

また請負額の内訳が説明され、意見交換が行われた。

#### (4) その他

特になし

### 3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

#### (1) 平成23年度日本解剖学会奨励賞・解剖組織技術士功労賞について

資料に基づいて説明があった。

#### (2) 平成23年度技術士資格試験について

資料に基づいて説明があった。

(3) 2011(平成23)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づいて説明があった。竹田副会頭より準備状況に関して、岡部理事よりプログラム委員会に関する報告がそれぞれあった。また演題登録、抄録集刊行に関して意見交換が行われた。この中でプログラム集に関しては学会の、抄録集刊行に関しては主催者の費用負担でそれぞれ刊行される事が確認された。

(4) 生科連について

資料に基づいて説明があった。

(5) the XXII International Symposium on Morphological Sciencesについて

資料に基づいて説明があった。

(6) 第28回日本医学会総会について

資料に基づいて説明があった。

(7) その他

- ① 河田理事よりAPICAの今後の開催日程と、IAAとの関係に関する説明があり、その後種々の意見交換があった。
- ② 岡部理事より誌上開催になった第116回大会の会計報告が行われた。

4. 会計報告(牛木会計担当理事)

(1) 平成23年度中間決算書について

資料に基づいて説明があり、科研費の不採択分に関しては予備費から補填することが報告された。更に関東懇話会の残余金を震災義援金として寄附したいという関東支部の事例が紹介され、その取扱い方法に関して種々の意見交換が行われた。

(2) 資本金の運用について

資料に基づいて説明があった。現在の低金利と将来の金利予測に基づいて今後1年間は定期預金で運用すること、次年度以降に関しては高田理事長の調査に基づいて運用計画を策定することとした。

(3) その他

特になし

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づいて説明があり、全員を承認した。

2. 教授就任による申請学術評議員について

資料に基づいて説明があり、2名全員を承認した。

3. 2015(平成27)年度総会・全国学術集会担当校について

資料に基づいて説明があった。河田理事が近畿地方での開催、生理学会との合同大会の可能性を含め、次回9月開催の常務理事会迄に検討を行い、指針を示すことになった。

4. 支部学術集会抄録掲載料と解剖学雑誌の刊行見直しについて

(1) 当日配布資料に基づき、① 支部学術集会抄録の解剖学雑誌への掲載廃止、② 解剖学雑誌の年間刊行回数縮小(4回を3回に)、の2提案に関して説明があり、審議が行われた。種々の意見交換があったあと、両提案とも承認され、その実施は次年度からということになった。

(2) ASIの査読システムに関して今後ScholarOneを採用するか否かが議事として提示され、審議の結果これを採用することを決定した。

5. その他

(1) 仲嶋常任幹事より第117回全国学術集会のプログラム委員会に関する報告と説明があり、将来計画委員会で決定した内容をどの様なかたちで反映させていくかに関して質問があった。これに対して牛木理事からプログラム委員会へ学会からの人材派遣が行われていることで対応している旨の説明が行われた。他の項目に関しては今後の検討課題としていくこととした。

(2) 各種委員会に関する今年度の事業内容を詰める必要性が指摘され、次回常務理事会での検討課題とすることとした。

次回常務理事会

平成23年9月10日(土) 13:00~15:00 東京大学本郷キャンパス医学部教育研究棟2階第1セミナー室